

一関市議会 産業建設常任委員会 記録

会議年月日	令和4年11月25日(金)			
会議時間	開会	午後1時30分	閉会	午後2時31分
場 所	第2委員会室			
出席委員	委員長 小野寺 道 雄		副委員長 佐 藤 敬一郎	
	委 員 齋 藤 禎 弘		委 員 岡 田 もとみ	
	委 員 小 山 雄 幸		委 員 千 田 恭 平	
	委 員 千 田 良 一			
遅 刻	遅 刻 なし			
早 退	早 退 なし			
欠席委員	欠 席 岩 渕 典 仁 委 員			
事務局職員	主任主事 伊藤悠子			
紹介議員	なし			
参 考 人	なし			
出席説明員	なし			
本日の会議に 付した事件	<ul style="list-style-type: none"> ・所管事務調査 (1)市民と議員の懇談会における意見等に係る調査について (2)その他 			
議事の経過	別紙のとおり			

産業建設常任委員会記録

令和4年11月25日

(開会 午後1時30分)

委員長 : ただいまの出席委員は7名であります。

定足数に達しておりますので、これより本日の委員会を開会いたします。

岩淵典仁委員より欠席の旨、届出がありました。

録画、録音、写真撮影を許可しておりますので御了承願います。

本日の案件は御案内のとおりです。

まず、市民と議員の懇談会における意見等に係る調査について、当委員会で意見等に対する回答と当局へ提言するものと内容を調査することとし、本日回答案及び対応について、御協議いただきます。

お手元に、委員長案を配付しておりますので御覧いただきたいと思います。

資料について、お目通しいただくため、暫時休憩いたします。

(休憩 13:34～13:58)

委員長 : それでは、再開いたします。

提言事項の案について、目を通していただいたと思いますが、それぞれ皆さんから意見を頂いて当委員会からの提言のまとめとしたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

意見交換を行います。

千田良一委員。

千田(良)委員 : このたたき台5番ですけれども、生活道路の実情を調査し、狭隘な市道の改良や保守等の維持管理に努め、円滑な云々とあるわけです。

これについては、それぞれの合併前から、あるいは合併後も事業費を導入して、まず大きくいろいろな人たちに関係する部分の道路改良なり道路修繕整備というのは行われてきたという認識をしていて、今残っているのはそこからさらに入っていくところの、いわゆる本当に限られた人が使う生活道路の整備を今、改良ということではなく基本的に現道舗装というのかそういう形で今、市のほうでも、そういうスタンスで進めているので、このとおりでいいと思います。

であれば、載せることはないかと思うところもあったのですが、残されているのが難しい部分、整備するのに難しい条件のところが残っているなという思いで見

います。

ですから、これについてはそのようなところだというようなことを、共有してもらえれば、単なるこの字面だけではなくて、残っているのはそういうところだなということが、この委員会で思いを共有してもらえればいいかと思います。

意見です。

委員長：一つの案として、実情を調査するというのが今意見のあった、どこが難しいのかということも含めて調査するという表現にしたところですけども、これを今言ったように別な表現で、ここにこういう文言を入れたらいいのではないかということがあれば、お願いしたいと思います。

そのほかにございますか。

小山委員。

小山委員：ここに7つほどの項目ですけども、これでいいかなというように思いますけれども、今、道路の話が出て合併前から積み残したのがいまだに進んでいないから、この改良や補修等を進めるということなのですけども、それに対する予算が圧倒的に少ないからなかなかこの道路が確保できないという事情があると思うのです。

円滑な道路通行の確保を図るだけではなく予算的な部分も懇談会には意見として出ていないけれども、そこがネックなのではないかなと思います。

特に生活道は市民生活に密着しているものだから、やはり水と空気のような感じで使うようなものですからもう少し重点を置いてもらうというような表現をしたらいいと思います。

委員長：千田良一委員。

千田（良）委員：今、小山委員が言ったのもそのとおりで、市道でも1級市道、2級市道、その他市道がありますよね。

恐らく今残ってしまっているのはその他市道のところだと思います。

そうするといずれ残っているところは農村部のほうだからそのあたりをどのようにお金をかけないようにして進めるためには、早い話、成果は延長距離を伸ばすことだと思うのです。

そのところを私たちとすれば、逆にいわゆる当局、建設部サイドにいろいろな話をして、頑張れという話は当然するのですけれども、普段から頑張ってしまうと、聞くところによると、結局今、実施計画で抑えられてしまう。

そうすると実際に予算を組み立てる段階で、その範囲での話しかないという実態はあるわけなのです。

そうするともう実施計画は実施計画だけれども、あまり縛らないと言っても私たちの立場から言いつらいけれども、そういうところがあって、実際の建設部サイ

ドはなかなか思い切ってやっていけないところだと想像します。

委員長：道路問題も含めて全ての面でそういう課題があるということは、それぞれ共通認識にあると思いますけれども、今回の場合は、市民と議員の懇談会で出された意見に沿った形での提言ですから、全般的な大きな話ではなくて、個々のこういう網羅した何項目かをトータルするとこういう表現かなという組立ての提言だと思うので、その辺を十分考慮していただいて、意見を頂ければというように思います。

千田恭平委員。

千田（恭）委員：今回の当委員会の作業としては、過日行われた各地区懇談会で出た意見を当委員会の所管分について、具体的に広聴広報委員会にまとめるというのが今回の役割かと思っています。

各委員はそれぞれの思いとか考えがあると思いますが、それはそれとして、例えばそれについては、3月の予算審査特別委員会のときに意見を言うとかであって、今回はこのあくまでも出た生の声から当委員会所管分について、広聴広報委員会に報告して、そしてあとはそちらでまとめていただく。

広聴広報委員会は、皆さんの各地区で出された意見をこういうような形でまとめましたよということで、最終的には恐らく議会だよりとかそういった形で、市民の皆さんにお知らせするというのが今回の役目かだと思いますので、あくまでもその範囲内での作業ということであれば、私はこの委員長副委員長にやっていただいたたたき台、これで基本的にはよろしいかと思っています。

委員長：岡田委員。

岡田委員：印象としては、1番と2番の文言がちょっと抽象的過ぎて、総務常任委員会の案と比べて見ても、例えば1番の雇用の問題ですけれども、市民の方から多く出ているのは、地元で雇用の場の確保をしてほしいと。

そういう意見が圧倒的に多いというか、切実な声が見受けられるのですけれども、1番の文言を見ると、前段の良好な企業立地環境を整備するとともに、ここはいいですが、テレワークの導入など多様な働き方に応えられる雇用の創出というようになると、ちょっとこう市民から出た雇用の場を何とか確保してほしい、あと企業誘致という声もあるので、とにかくこの働く場を地元につくってほしいという思いがちょっと薄れるような印象なのです。

テレワークも一部には出ていますが、とにかく雇用の創出と言うと市長が言っているように聞こえるので、そのまま雇用の場の確保をすることでいいような思いはいたします。

2番のほうについても、最後に、農村の暮らしを守ることとありますが、そこもちょっと抽象過ぎるということで、水田を守っていくとか、水田とか農地を荒らさ

ないための何か具体的な文言があったほうが、当局に提言として出すときに、当局としても取り組みやすいのかなとイメージしました。

委員長：1番のほうは、雇用の場の創出を図ることというところを最後の雇用の創出ではなくて、雇用の場ということをはっきり表現したほうがいいということですね。

それから農村の暮らしということは、農林業の何というか、農業でも暮らしているというそういう思いで書いたのだけれども、そうすると農業で生活できる環境を整備することとか、そんな表現のほうがいいですかね。

岡田委員。

岡田委員：その思いをそのままにしたほうが、分かりやすいです。

委員長：齋藤委員。

齋藤委員：2番のところ、今ちょっと気にしていて、岡田委員も言われていましたが、生産基盤の整備等を推進しとあるのですけれども、これ生産基盤というと農地も当然だし、あと実際に働く人たちが指すのかというように取ることもできるのですけれども、そういったところもちょっと具体的に書いてもいいと思いました。

成長産業化とありますが、ここはやはりきちんと基幹産業だということも位置づける必要があるかなというように思います。

あとは3番、4番はこれでよいかと思います。

以上です。

委員長：千田良一委員。

千田（良）委員：先ほど話しましたので、そのとおりです。

委員長：佐藤委員。

佐藤委員：先ほど修正した内容で、あと下のほうはそのままでもいいのではないかと私は思います。

委員長：今の意見を整理した形で、もう一度タブレットに送信したものを確認してもらって、提出したいと思いますが、それでよろしいですか。

（「異議なし」の声あり）

委員長：御異議なしということで、そのように進めさせていただきます。

暫時休憩いたします。

(休憩 14:13~14:17)

委員長 : 再開いたします。

提言事項以外の項目について事務局から示された案のとおり調査することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 : 異議ありませんので、さよう決しました。

それから、その整理の仕方ですが項目についても、こういう形でいいかどうか、再度確認したいと思います。

御意見がありましたら挙手の上、発言願います。

(「なし」の声あり)

委員長 : なければ、このような形で進めていきたいと思いますが、よろしいですか。

(「はい」の声あり)

委員長 : 異議がないようですので、このように取り進めます。

以上で、意見交換を終わります。

市民と議員の懇談会における意見については、先ほど申しあげましたように、御意見を整理した形で、広聴広報委員長へ報告することにいたします。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 : 異議ありませんのでさよう決しました。

誤字、脱字等その他整理を要するものにつきましては、その整理を正副委員長に一任されたいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「なし」の声あり)

委員長 : 異議ありませんので、さよう決しました。

以上で、市民と議員の懇談会における意見等に係る調査について協議を終わります。

す。

次にその他に入ります。

まず、行政視察についてを協議いたします。

事務局から視察候補先の案をお手元に配付しておりますが、こちらを御覧いただきたいと思います。

暫時休憩します。

(休憩 14:20～14:29)

委員長 :再開いたします。

それでは皆さんから意見を頂戴したいと思います。

千田恭平委員。

千田(恭)委員:ここに何か所か候補地がありますけれども、今、NECプラットフォームズ株式会社一関事業所跡地の関係もあるのでできれば、中心市街地の整備事業とか、市街地の開発事業などをちょっと見たいなと思います。

新型コロナウイルス感染症の状況にもよるでしょうけれども、一応、なかなか遠くに行く機会もないので、例えば山形県、福島県経由で新潟県だったり泊まって視察して戻ってくるというのも一つの案としてはいいのかなと思います。

委員長 :そのほかにございますか。

(「なし」の声あり)

委員長 :ただいま、千田委員から御意見がありましたので、そういう方向で、あと相手先の都合もあると思いますので、日程は1月23日の週に、うまく組み立てられればその方向で、案を決定するというのでいきたいと思います。

そういう方向でよろしいですか。

(「はい」の声あり)

委員長 :ほかに御意見がないようでございますので、そういう方向で組み立てさせていただきます。

それでは、調査項目等については、先ほど話したとおりの方向でいきたいと思えます。

詳しい日程等につきましては、正副委員長に一任願いたいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「なし」の声あり)

委員長 : なければ、以上で予定した案件の協議を終了いたします。
ほかに皆さんから何かございませんか。

(「なし」の声あり)

委員長 : なければ、以上で本日の委員会を終了いたします。
御苦労さまでした。

(閉会 午後2時31分)